

平成28年度第1回事務事業評価における総括

部 局 名	議会事務局	記入責任者	栗原 謙二
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>議会事務局の業務計画に位置付けられた重点事業では、9事業のうち7事業については活動目標を達成しS評価としています。また、「ホノルル市議会との交流」及び「文教大学との連携」の2事業については、当該年度における活動目標は達成したが、成果は今後見込めることからB評価としています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>地方分権時代に即した議会となるため全国的に議会改革が求められており、本市議会においても制定した議会基本条例に基づき、市民の付託に応えるべく議会改革に努めました。</p> <p>事業達成の要因としては、的確かつ効率のよい議会運営が行えるよう、綿密な情報収集・分析を行うとともに執行部を始め関係機関と十分協議しながら事務を進めたこと、また、市民にわかりやすく開かれた議会となるよう、市民との意見交換会・議会報告会、本会議及び委員会のインターネット配信など、積極的な広報活動や広聴活動に努めたことなどによるものと考えます。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>順調に進捗している事業については、継続して取り組みを進めてまいります。併せて、さらに市民に開かれ、わかりやすく、信頼される議会となるよう適宜事業の見直しを行ってまいります。</p> <p>具体的には、会議映像配信に係る業務について、新たな配信システムを導入して、いままではパソコンでしか見られなかった議会の会議映像を、今後は配信先にタブレット・スマートフォン等を加えて、場所や時間にかかわらず、いつでも、どこでも議会の会議の映像を見られるようにします。併せて、業務手法を見直し、直営事務から外部委託に改め経費の縮減も図ってまいります。また、新たな広報戦略として、SNSの活用についても取り組み、開かれた議会に向けて積極的な広報に努めます。</p> <p>また、環境面の配慮の視点を持ち、現在のインターネットの普及状況に鑑み、会議録は市議会ホームページで閲覧できることから、紙媒体の会議録の各種機関への配布については、その配布先、配布冊数等必要性について見直しを行ってまいります。</p> <p>本市議会では、現在議会改革に取り組んでいるものの、旧態依然とした議会運営は残っています。議会活動の公正性、透明性を確保するなど議会基本条例が的確に運用できるよう、議会内各会派代表議員により現在議会制度改革について検討しておりますので、事務局としてその活動を強力にサポートしてまいります。</p>			